



明治大学校友会  
柏地域支部

ホームページ



あけぼの山の夜明け

白田会員撮影

http://members3.jcom.home.ne.jp/meiji-u.kouyuukai.kashiwa/

— 第8号 —

発行日 平成23年7月1日  
発行 明治大学校友会千葉県  
西部支部柏地域支部  
発行人 宇都宮幸正  
住所 〒277-0066  
千葉県柏市中新宿1-2-21  
電話 04-7173-7301  
編集 山田秋彦  
(☎ 04-7169-0333)

- P1: 第九回柏地域支部総会、第八回千葉県西部支部総会
- P2: 明大マンドリン倶楽部演奏会、我が国農業の原点考察(故 柳内隆平)
- P3: 明早ラグビー観戦記(吾郷春男)、名古屋時代(植田宗康)
- P4: 庚申塚の話(山田秋彦)、サークル活動アンケート調査結果
- P5: イベント活動報告
- P6: 委員会からのお知らせ、イベントのお知らせほか

第九回柏地域支部総会

平成23年5月8日、三井ガーデンホテル柏(天空)において第9回柏地域支部総会が開催されました。

猪瀬千葉県西部支部長はじめ、西部支部所属の地域支部より来賓を迎え、40名の会員が出席しました。総会では22年度の事業・決算・監査報告、23年度事業計画・収支予算を審議し、原案通り可決されました。

つづいて開催された講演会では明治大学理工学部長、三木一郎教授より「エネルギーの現状と環境改善に貢献するモータで走るEV」と題するご講話を頂きました。原発事故の後だけに発電の関心が高まる中、発電に使用される我が国のエネルギーの現状と環境改善に役立つ電気自動車の特長について母校での研究開発をご説明頂きました。

懇親会では今年新たに入会された古江さん、清野さんが紹介されました。校歌斉唱に続くエールの石原さんの指揮は見事な采配でした。

なお、会場に東日本大震災への義援をお願いする募金箱を設置したところ、明治大学口が6000円、柏地域支部口が4万2000円集まりました。地域支部分は、新聞社(朝日、産経、毎日、読売)を通じて、1万5000円に分けて募金しました。皆様のご支援に感謝し、お礼を申し上げますと共に、被災地域の一日も

早い復興をお祈り申し上げます。



第九回柏地域支部総会

平成23年5月8日

第八回千葉県西部支部総会

平成23年6月5日(日)、三井ガーデンホテル柏において千葉県西部支部総会・懇親会が開催されました。

来賓として長堀理事長、山口校友会副会長、椎名千葉県東部支部長にご臨席頂き、猪瀬千葉県西部支部長、7地域支部長をはじめ総勢130名余りが出席して、22年度決算報告、23年度予算案を審議し、可決されました。

懇親会のアトラクションとしてチアリーダーの応援パターンが披露されました。チアリーダーの演技は遠くから眺めても楽しいものですが、間近でみると迫力満点です。近ごろ明大の人氣が急上昇しているようですが、その秘訣は彼女たちのパワーあふれる演技にあるのではないかと思います。



最後に明大現役応援団を伴奏に校歌斉唱、歌詞なしで3番まで歌いました。酔ったせいもあって、歌詞がかなり飛び跳ねてしまいました。校歌はどんなときでも3番まで歌えるようしておきたいものです。



チアリーダーのパワー全開

**十月二十九日(土) 柏市民文化会館にてマンドリン倶楽部演奏会を開催します**

明治大学マンドリン倶楽部は大正12年に古賀政男氏等によって創部された歴史と伝統のあるマンドリンオーケストラです。

我孫子地域支部は11年前から隔年我孫子で演奏会を開催していました。柏地域支部も前々回よりこの催しに参加し、前回より流山地域支部の協力も得て、より多くの皆様に楽しんで

でいただけるよう柏市民文化会館で開催し、好評をいただいています。

今回は柏・我孫子地域支部の共催、流山地域支部の協力、柏市教育委員会・我孫子市教育委員会・柏市社会福祉協議会・我孫子市社会福祉協議会・我孫子市ロータリークラブの後援で東日本大震災復興支援チャリティ演奏会と銘打って、10月29日(土)柏市民文化会館大ホールで開催します。

昨年来、月に一度のペースで我孫子・流山地域支部の実行委員と協議を重ねて準備を進めています。すでにポスターやチラシも出来上がり、チケットの販売も始まりました。お申し込み、問い合わせは植田実行委員までお願いします。(6頁の関連記事も参照下さい)

☎090 (1404) 1138  
Fax 04 (7132) 7515

**我が国農業の原点考察(四)**



昭和35年法卒 故 柳内隆平

今後は、身近な大小河川に川魚の生息を取り戻すための環境改善策が早急なる検討課題となります。例えば、特定地域に環境改善特区を指定して、国

または地方自治体から予算を確保し、これを管理する委員会の設立を提言します。河川に往年の清流を取り戻すことにより、過去に多種生息していた川魚が増殖回帰し、同時に農村地域の河

川・田畑・土壌が浄化されます。その結果、無公害な米と美味しい野菜類を国民に供給できるものと確信します。

我が国国土の総面積は狭く、山林地帯がその7割を占め、農地に適用できる平地は約3割です。江戸時代から昭和中期に至るまで、農地に隣接する荒地を人力でツルハシ・スコップを使用して開墾させ、食料の増産を奨励したのが歴代政権の国策でした。昭和中期以降、高額な大型耕耘機と田植機を借金をしてまで競って導入したことにより、労働力の省略化と米の増産には繋がりましたが、生産コストの上昇により、国際競争力は逆に減退しました。

他方、安価な輸入小麦を原料としたパンの主食化が進むと、昭和中期以降、米の消費量が大幅に減衰し、米の過剰生産が問題になりました。自民党の農政は農家に減反政策を強い、結果として水田の休耕地と耕作放棄地が増えました。さらに最近の民主党の農家への個別所得補償が、農家の生産意欲を減退させ、農業従事者の高齢化とあいまって、現在の国際競争力のない日本の農業像が顕著になりました。

最近、テレビ・新聞紙上で話題になっている環太平洋経済連携協定(TPP)は、これまで国際間で進めてきた二国間協定の自由貿易協定(FTA)と経済連携協定(EPA)より、さらに例外なき関税の撤廃を前提としてチリなど4ヶ国が2006年に締結した広域的な協定で、最近アメリカ・韓国

等有力な5ヶ国が参加を表明しています。日本もこの国際機運に乗り遅れない様に国内の農業改革を断行し、TPPに参加すべきであります。参加によって失うものよりも得るメリットが大きいことを理解すべきです。政府の参加への大英断を期待しています。

昭和35年法学部卒 柳内隆平



平成22年5月の写真

(柳内隆平さんは平成23年3月15日急逝されました。謹んでお悔み申し上げます。この文章は昨年10月にお預かりした原稿を編集したものです。柳内さんの「我が国農業の原点考察」は全4回2年間にわたって連載されましたが、今回、これをまとめて特集号を編集しました。興味のある方は編集担当までご連絡ください。)

**明早ラグビー観戦記**



昭和33年政経卒 吾郷春男

平成22年12月5日、注目の明早戦。我が明治は6戦全勝。慶心に敗れた早稲田は5勝1敗、明治に敗れた慶応も5勝1敗。勿論全勝の明治が有利で

あることは間違いないところ。今日勝てば対抗戦12年振りの優勝だ。仮に敗れてもトライ数で勝れば明治の優勝が約束されている。心強いことに、応援仲間は昨年の2倍。横須賀から駆け付けられた校友、還暦を迎えたばかり、はつらつ母校愛豊かな紅2点。期待と高揚感一杯の4人で国立競技場へ急いだ

競技場は既に9割方満席。心なしか紫紺旗のゆれが海老茶旗のそれより多く感じられ頼もしい。いよいよキックオフ。スタンドは満席、立錐の余地もない。

明治ラグビーは出足よく一丸となって攻め続け、早稲田陣に迫った。重戦車が往年の姿を髣髴させる強力な圧力をかけ続ける。双方のフォワードが一進一退の攻防戦10分間。だが無策の明治はそれ以上進めない。あと5メートルだというのに。スクラムが崩れ、トライチャンス逃した。耐え抜いてミスを呼び反撃に転じた相手は生き返ったようにボールを支配し続け、前半2トライ、ゴールキック全て成功。17点。明治はペナルティーゴールの3点のみ。後半やつと2トライをあげた。逆転に望みをつないだが、相手は逆に勢いづき、一度も逆転ならず、結局ダブルスコア15対31で敗れた。最初の出だしの拙攻が響いた。そこでトライを挙げていたら負けても優勝できたのに。宇都宮先輩の落胆口惜しさは私も同じ。FWで押しきれず、ボールの奪

い合いにも負け、タックルも弱い、ラインアウトも未熟。総合力の完敗だった。次に早稲田とぶつかるのは学生選手権準優勝の筈。吉田監督の魔力でボール支配力の向上、走力技術の改善、スリッパのタックルでリベンジしてもらいたいものだ!

昭和33年政経卒 吾郷春男



試合には敗れたが、応援では勝っていた

## 名古屋時代



昭和41年商卒  
植田宗康

03年4月桜の咲く頃、赤坂の米国大使館の前にあるビルの社長室に呼ばれ

た。私はデンソーグループ会社で常務取締役営業本部長をしており同年6月役員定年で退任することになった。社長の話はデンソー施設部の機能分社を同年7月に立ち上げるため、取締役で建設業の業務管理責任者として愛知県刈谷市にあるデンソー本社内の新会社へ赴任することであった。

私は昭和16年中国満州大連市に生まれた。父親は現地召集で関東軍に入隊してすぐに終戦、そのままシベリアで捕虜、抑留され、極寒、重労働、栄養失調で客死した。私と母は戦後内地に引き揚げ、母の実家がある名古屋に住み始めた。昭和22年のことである。

翌年、名古屋城に近い名城小学校に入学、中学は名古屋市の真ん中にある前津中学に進み、昭和32年、母の生計を助けるため、定時制夜間高校(4年制)の菊里高校に進学した。高校卒業後、国家公務員初級、愛知県職員、名古屋市職員試験を受験して全て合格した。名古屋市本庁の計画局に配属されたが、職員の大半が大卒であり、大学進学のため捨てられずその年12月退職して受験勉強の背水の陣をしいた。

幸いにも受験した二、三の大学、学部全て合格した。名古屋市の職場に明大法学部の先輩がいて明大商学部を薦められ、生田学生寮に入寮出来るよう手配して頂けることで明大進学を決めた。この生田寮の1年下に佐々木利夫さんがいたと昨春秋、幹事会で知らされた時は世の中は広いようで狭いとつ

くづく思った。

このように小、中、高と名古屋で過ごした私は名古屋が故郷であり、東海地方の地理にも詳しく友人も多く、社長からの再雇用の話に不安は無く、快諾したのは言うまでも無かった。結局09年6月退任、1年間顧問で7年間名古屋で勤めさせて頂いた。

閑話休題

苦学して大学を卒業して入社した会社は三井物産と米國GE社の合弁会社でありGE社の空調機を松本市の工場に生産して販売する会社であった。GE社の空調機はGE社が独自に開発したもので当時国内メーカーではまだ製造されていなかった。

私はビルのオーナー、設計事務所、建設会社、設備会社を担当する開発営業で、新方式の空調機の設計折込みに努力して実績を伸ばした。この時の経験と建設業界での仕事は後々デンソーグループの会社で活躍するのに大変役に立った。この間に、トヨタグループ(旧トヨタ自動車工業、旧トヨタ自動車販売、旧日本電装)が、自動車の貿易摩擦を緩和する策の一つとして米國製空調機を販売するために資本参加した。その後、デンソー出資の空調機の販売会社が設立され、私はその新会社に移植した。その後その会社に定年まで勤めることができた。このように私の人生のバックボーンに私の故郷である名古屋の力が働いてくれて、名古屋の企業と深い係わり合いが持てたことは誠に幸い

であった。  
長々と駄文で恐縮だが、ここで名古屋勤務時代にお世話になった明治大学校友会名古屋地域支部について紹介したいと思う。

校友会愛知県支部長 小林一光  
(昭和35年農学部卒)

名古屋地域支部長 天野俊明  
(昭和38年商学部卒)

名古屋校友会の役員には代々受け継がれた老舗や著名企業の経営者が多く、また全国校友会青木信樹名誉会長もおられる。校友会の歴史も古く、会員数も多く活動は非常に活発である。名古屋地域支部の中には比較的若い会員100余名が家族ぐるみで活躍している『紫水会』、異業種交流会である『名水クラブ』、トヨタ自動車の販売会社に所属する会員で構成される『名豊駿台会』がある。



名古屋城は金の鯨が有名である。鯨は雨を降らす防火の守り神。徳川家康が築城した時の金鯨は慶長大判1940枚(現在の相場で6億円以上)と云われている。

私の思い出はなんとと言っても愛知万博に合わせて05年9月に開催された全国交友愛知大会である。村山富市元総理の格式ある挨拶や星野仙一

氏の記念講演はとても和やかな雰囲気の中でユーモア溢れる話し方に聞き惚れた。また記念イベントは明大グリーンクラブの美しいハーモニイの歌声。懇親会では名古屋と真ん中祭りの踊り等で盛り上がり、最後は1500名一同による校歌大斉唱であった。

昭和41年商学部卒 植田宗康

## 庚申塚の話



昭和53年工卒 山田秋彦

我が家のもよりのバス停は「庚申塚」といいます。庚申塚バス停は北小金南柏間を往く東武バスが北小金を出発して、旧水戸街道に沿って国道6号線を横切り、上富士川の低湿地を通過したのち、S字状に屈曲する行人坂の急勾配を登りきったところにあります。バス停の名は庚申塚ですが、付近にそれらしい石塔はみあたらないので、塚は既に無くなったかと思っていました。

最近、インターネットで検索したところ、「旧水戸街道の庚申塚バス停付近の土手に二基の庚申塚がある」という記事をみつけました。さっそく現地を確認すると、バス停から40mくらい北小金に向かった左の路肩に、庚申講の本尊である金剛様が彫られた石塔(1.0m)と、「青面金剛」という文字が刻まれた石塔(0.6m)が並んで建てられています。

た。バス停から少し離れていて、周囲の風景によく溶け込んでいたので、名前の由来となった塚とは気づきませんでした。よくみると、金剛像が彫られた大きい石塔には享保九甲辰年十月吉日小金領中新宿村の講中十三名と記され、青面金剛の文字が彫られた小さい石塔には宝暦十二壬午年十月と記されていました。これらの年代を西暦に直すと、それぞれ1724年、1762年になります。

庚申塚は庚申講が成就した記念に建立するものです。庚申講は60日に1度の庚申の日に人々が集って宴会を行なう行事で、それが18回繰り返されると大願成就して長寿がかなうといわれます。ちなみに近くの行念寺には「明和四丁亥年(1767年)十九夜女中講中十月吉日 中新宿村」銘の十九夜塔があります。これは子宝や安産祈願のため、旧暦19日の夜に村の若妻たちが集り、供物を供え念仏を唱えながら月の出(夜10時)を待つ、という行事を記念して建てられたものだそうです。

歴史を振り返ると石塔建立ののち、当地は浅間山の大噴火(1783年)や天明の大飢饉(1782〜1788年)などの天災に見舞われます。その後、幕末の動乱、明治の新制度(1867年)、小金牧の入植、終戦(1945年)、戦後の混乱などを経て、現在に至ります。その間、中新宿の人口は石塔建立時から昭和初期まで大きく変わりましたが、首都圏の膨張により最近

80年間で実に100倍に膨れあがりました。塚周辺にもマンションが林立し、街の景観も大きく変わりました。

それでも、庚申講や十九夜女中講の精神は、代々この地に住み続ける方々のご尽力もあって、今も町会や婦人会等に確実に引き継がれています。先人が石塔に託した相助とゆりの精神は、庶民がともに時代を生き抜くための生活の知恵だといえます。中新宿の庚申塚は既に300年近く町外れの路傍にたたずみ、時代と共に変遷する人びとの暮らしを見守り続けてきました。これからも道行く人々を見守り、塚の建立に込められた知恵を子子孫孫まで伝え続けることを願います。

昭和53年工学部卒 山田秋彦



中新宿の庚申塚  
右 青面金剛 文字塔 (1762年)  
左 金剛像塔 (1724年)

## サークル活動のアンケート調査報告

今年2月、校友会々員の親睦を深め、会員の趣味を生かすことを目的としたサークル活動の参加状況を会員104名にアンケートした結果は次の通り。

回答者数	20名 (複数回答)
一 ゴルフ同好会	12名
二 タウンウォーキング	15名
三 スポーツ観戦	6名
四 写真クラブ	1名
五 詩吟倶楽部	7名
六 ボーリング大会	2名

100名余の会員数の割合からして回答者が少ないのは意外である。サークル活動が定着していない現状の表れと思う。又、回答者の年齢層が卒業年度から見て60歳後半以上であり、若い年齢層がいないのは仕事や家族サービス等自由時間が少ないために参加できないと考えられる。

定番のゴルフ同好会は兎も角タウンウォーキングが種々のサークルの中で人気がある。今年前半は天候による中止や大震災により自粛したが、今後も積極的に実施することが望まれる。

又、野球、ラクビーの明早戦、スポーツ観戦も人気があるが、日頃中々観戦できない馬術競技観戦を企画するのも良いかと思う。希望者が少ない写真クラブ、ボーリング大会は再検討が必要である。

**イベント活動報告**

**●新春の集い**  
平成23年1月23日、柏駅西口の麗宮飯店において、恒例の柏地域支部「新春の集い」が開かれ、34名の校友が集まりました。昨年新たに入会した3人の出席者の紹介があり、その後、出席者全員の簡単な自己紹介が行われ、歓談を通じて会員間の親睦を深めました。

**●タウンウォーキング**  
平成23年5月18日、アンケートで人気の高かったタウンウォーキングを実施してキリンビール取手工場を見学しました。参加者は5名と少なめでしたが、試飲でほろ酔い気分となり、盛り上がりしました。

キリンビール取手工場はJR取手駅西口からバスで10分位の国道6号線沿いに立地しています。工場敷地

孫子の地域支部と合同で行えば校友間に広がりが出て更に良いかも知れない。異業種交流会が実現できることを望みたい。誰か旗振り役を引き受けてくれる方おりませんか？

事業担当幹事 植田 宗康



『キリンビアパーク取手』試飲でほろ酔い気分、ガイドのお嬢さんと和む参加者

は26万㎡と広いが殆んど自動化されており、従業員は200人と多くありません。工場は環境に配慮されており、ビールづくりに使った水は工場内の排水処理設備で全量浄化される。排水処理設備で発生するバイオガスを利用したバイオガスエンジン・コージェネシテムの導入、夜間電力の有効利用による電力貯蔵電池の導入、太陽光発電の導入など省エネと環境保全に努力しているそうです。

**●詩吟クラブ『柏明吟研会』**  
5月19日、詩吟倶楽部『柏明吟研会』がスタートしました。講師は詩吟歴33年神風漁匠風会会長代範、宗師の吾郷幹事です。会員の菊地さんは長年詩吟をされており国神会七段で大変お上手です。初日は【鞭声肅々・・・】でよく知られている川中島（通称）の名詩で始まりました。

詩吟の呼吸法である腹式呼吸で、腹の底に力を入れて大きな声を思い切り出して謡います。健康にはとても良いようです。新規入会の方をお待ちしております。詩吟初めての方大歓迎。



6月23日詩吟クラブに出席した会員の方々（2名欠席）

**●定期ゴルフ大会**  
6月7日（火）、紫カントリークラブ。あやめコースにて第6回柏・流山地域支部懇親ゴルフ大会が開催されました。参加人数は30名（柏17名、流山13名）と初参加も多く、参加人数は過去最高でした。梅雨の中休みというか一日中曇り空で暑くもなく、林間コースの新緑のもとで和気藹々、また真剣にプレーを楽しみました。

優勝者は光崎親一さん（流山）、準優勝は竹之内明さん（柏）3位は永井康雄さん（柏）となり、栄えあるブービー賞は初参加の広井武昭さん（流山）でした。次回は柏地域支部が幹事となり11月に開催の予定です。是非とも多数のご参加をお待ちしています。



明大 校友会 柏・流山 地域支部合同コンペ 平成23年6月7日 (火) 於 紫カントリー

### 委員会からのお知らせ

#### ●総務委員会

「お詫びとお願い」

先に開催されました総会に、ご参加されなかった方々へ、総会資料と、校友会柏地域支部会費の振込み用紙をお送りしましたが、年会費の金額を明記していませんでした。お詫びいたします。金額は3000円です。お手数ですが、ご記入のうえお振込み願います。

#### ●事業委員会

アンケート調査の結果に基づき、恒例の定期ゴルフ大会のほか新たに、タウンウォーキング、詩吟クラブが発足しました。ぜひご参加ください。

#### ●組織強化委員会

以前千葉県西部支部総会のはがきに返信された方を対象に、入会と総会の案内状を送りました。その結果を含め、新たに入会された6名をご紹介します。  
昭和34年 経卒 瀧澤正保さん  
昭和34年 法卒 古江栄一さん  
昭和41年 商卒 清野伸雄さん  
昭和49年 工卒 片倉慶孝さん  
昭和49年 商卒 金田登志男さん  
昭和55年 農卒 渡来正吉さん  
このほか入会検討中と答えた29名の方には資料をお送りしました。なお返信はがきのコメントに、寄付や選挙応援を懸念する記述がありました。本会では寄付や選挙投票を強要することはありません。安心してご参加下さい。

**第6回 明治大学マンドリン倶楽部**  
東日本大震災復興支援  
**チャリティー演奏会**

2011 10/29 (土) ●会場 柏市民文化会館大ホール  
開場13時30分 14時開演  
北柏駅南口から無料送迎バスが有りま



特別出演 吉川 幸次郎 (昭和10年二胡演奏家)  
世界的な二胡演奏家、作曲家の活躍をよびます。

●チケット取り扱い  
洋野書店 (柏駅南口スカイプラザ地下1階) 柏高島屋本店 (柏駅西口)  
レスコットハウス (東柏駅東口) 金市商店 (高柳駅前)  
福祉ショップぽぽら (柏駅南口) 花子やきプラザ1階  
紀伊屋書店 (柏山おおたかの森S-C)  
東京事務所 (柏北柏南口) 春生軒 (柏高子駅西口)  
ブックエースあひこエス (店3階)

●入場券 2300円 (全席自由)

●お問い合わせ: 電話・ファックス 04(7183)3988  
郵便 090(1404)1138 ファックス 04(7132)7515

主 催: 明治大学校友会柏地域支部、明治大学校友会柏子地域支部  
協 力: 明治大学校友会流山地域支部  
後 援: 柏市教育委員会、柏子市教育委員会、柏市社会福祉協議会、柏子市社会福祉協議会、  
茨城子ロータリークラブ

第一部 古典音楽  
第二部 ゲストさんをお迎えして  
第三部 さらめくマンドリンの世界

#### ●実行委員会

第6回明治大学マンドリン倶楽部東日本大震災復興支援チャリティー演奏会が10月29日(土)柏市民文化会館大ホールで開催されます。今回は二胡演奏家曹雪晶さんをゲストに迎え、マンドリンの演奏に合わせて名曲の数々を演奏します。  
又、今回は東日本大震災復興支援チャリティー演奏会でもあります。一人でも多くの校友会々員の皆様方の参加を心からお願いする次第です。演奏会のチラシ、チケットの購入申込書を同封します。早めに申込みされるようお願い致します。(校友会々員は1枚に限り入場券を2000円とします)

#### ●情報委員会

会員間の情報共有を促進するため、新たに情報委員会が発足しました。ご期待下さい。情報発信の第一歩として、まず会報誌への投稿をお願いします。

### イベントのお知らせ

#### ●タウンウォーキング

次回は9月実施の予定です。大勢の参加を期待しております。参加希望の方は植田幹事までご連絡下さい。

#### ●第14回ホームカミングデー

10月16日(日)駿河台キャパスにて今年度は昭和36年、46年、56年、平成3年、平成13年の方が招待の対象です。

#### ●マンドリン倶楽部演奏会

「実行委員会」記事、2頁の記事参照

#### ●明治大学創立130周年記念

#### 第47回 全国校友東京大会

11月3日(祝・木)

式典・講演 13時開演

明治大学アカデミーホール

懇親会 17時30分開演

帝国ホテル孔雀の間

お問い合わせは宇都宮支部長まで

☎04(7173)7301

#### ●ゴルフ大会

11月開催予定(年2回開催)

詳細は加茂幹事長まで

#### ●講談鑑賞会\*

寶井講談修羅場第五十二回公演

12月4日(日)、お江戸日本橋亭

佐々木琴山こと本会会員佐々木

利夫さんが出演予定(無料)

#### ●第九演奏会\*

12月25日(日)14時開演、流山文化会館大ホール、本会会員の勝俣

さんが合唱に出演(2000円)

#### ●来年の新春の集い

恒例の「新春の集い」は1月下旬開催の予定です。

\*お問い合わせは各出演者まで

### 訃報

平成22年10月、昭和24年旧政経卒の本会会員・高宮昭様のご逝去されました。

平成22年11月15日、平成元年工学部卒の本会幹事・小林健一様のご逝去されました。

平成23年3月15日、昭和35年法卒の本会幹事・柳内隆平様のご逝去されました。  
謹んでお悔み申し上げます。